

月

企画展

テーマ展示

※各展示の入館料は個別にご確認ください。

4月

美術分野 第1・2展示室

昭和の洋画を切り拓いた若き情熱 一九三〇年協会から独立へ

4月2日[土]—5月22日[日] 休館日：4月25日[月]
開館延長日：4月29日[金]～5月8日[日] (19時まで開館)

洋画界に大きな影響を与えた「一九三〇年協会」の創立から90周年の節目を迎えるのを機に、昭和の洋画界に旋風を起こした同協会及び同協会の後に設立された「独立美術協会」の活動に注目し、時代の寵児たちの作品を紹介します。



林武《深婦》油絵画

5月

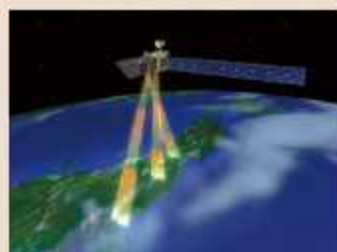
6月

自然分野 第1・2展示室

宇宙への挑戦～未知への扉をひらくとき～

7月23日[土]—8月28日[日] 休館日：なし
開館延長日：期間中の土・日・祝日 (19時まで開館)

〈主催〉「宇宙への挑戦～未知への扉をひらくとき～」実行委員会 (仮称)
今日の私たちの日常生活を支えている人工衛星やロケット技術について、宇宙への挑戦、宇宙での活躍、宇宙の利用の切り口から紹介します。



陸域観測技術衛星「だいち」(C) AXA



HIA ロケット (C) AXA

7月

8月

9月

美術分野 第1・2展示室

日本におけるキュビズム—ピカソ・インパクト

10月1日[土]～11月13日[日] 休館日：10月24日[月]

ヨーロッパにキュビズムが登場した1910年代以降、同時代の日本の作家たちが新しい表現をいかに受容したか、その後、第二次大戦後にピカソの強い影響を受けた作家たちがキュビズムの形式をとりいれてどのような表現・主題に向かっていったかを検証します。



東郷青児《コントラバスを弾く》
東京都立総合芸術センター 日本画室美術展

10月

11月

人文分野 ※会場 / 大山寺圓流院

大荒神展

10月15日[土]～11月6日[日] 休館日：なし

開山1300年を迎える大山寺において、鳥取県西部の重要な民俗文化財である「荒神祭」を紹介するとともに、民俗芸能「荒神神楽」の衣装等も展示し、荒神様に対する人々の想いを今に伝えます。



荒神神楽 (江府町下奴屋)



クチナワさん (南部町法勝寺)

12月

1月

美術分野 第2展示室

ミュージアムとの創造的対話 vol.1 MONUMENT (仮称)

2月25日[土]～3月20日[月・祝] 休館日：なし

国内外の優れたアーティストによる多様な表現を紹介することで、美術館／博物館の現代的な意味を問い直すことを試みる新しいシリーズ企画展。第1回目は、作品とそれが置かれる場／空間についての問題を提起する3名の現代美術作家による展示を行います。

鳥取県立博物館のほか、鳥取県内の文化施設・文化財史跡、空き施設等で開催します。



(出品予定作家)
白川昌生個展「消された記憶」会場風景より
『長崎原爆投下記念館』『強制連行犠牲者追悼館』
2015 © 木暮伸也

2月

3月

第3展示室

テーマ展示 I

前田寛治の素描と絵画

4月9日[土]—
5月22日[日]

テーマ展示 II

夏休み子ども向け企画

7月16日[土]—
8月28日[日]

テーマ展示 III

「御道具譚～作品に残された旧蔵者の影」(仮)

10月1日[土]—
11月13日[日]

テーマ展示 IV

○・△・□展 (仮)

11月26日[土]—
1月9日[月・祝]

テーマ展示 V

生誕100年
濱田台兒展

2月25日[土]—
3月26日[日]